

## 越前海岸ワーケーション 体験レポート

1. 「森のようちえん」の活動として子どもたちと八ツ俣町の村を回り、昼食も共にする。
2. お昼ご飯は「いただき膳」でいただく。こだわりの塩に五穀米、海藻や雑穀を使ったおにぎり。



### 3. 空き家ツアー

空き家ツアーで、3件のお宅を見学。ケーブルテレビの取材も入り、コメント。自分自身は、女性単身の移住希望ということで、見せていただいた案件はどれも大きすぎて、イメージが湧きづらい。どちらかというと、イベントをしたりシェアハウスなどに利用したりできるような、何部屋もある大きめのお宅ばかりだった。もう少し現実味のある規模がひとつでもあればよかったと思う。

### 4. 竹切り→釣り

越前海岸 PR の撮影をご一緒させていただき、竹切りや釣りに同行。近く公民館に飾られている竹灯籠の作り手さんの、手間と綿密な作業を拝見できてとても親しみが持てた。



5. 越前水仙の里公園内の「越廻サテライトオフィス」が、想像以上によかった！！！

外からの見た目より、室内はとても落ち着き。何よりも眼前の海と、明るさ。机や椅子も個人個人で選べて、集中できた。コンセントや水回り関連、電子レンジまでついていて、一日有意義に使うことができて、大変満足しました。もっと利用したい。

6. 農家民泊体験＆作業のお手伝い

協力隊の方の農家民泊と、地元の方の農家民泊とそれぞれ体験できて、話がつきなかった。農家民泊の方の作業お手伝いを、正直もったしかった。

今回は雨の中大根掘り→川で洗う。帰ってからは生姜の煮つけ（何か月分かの）づくりをご一緒に。朝食のカレイの煮つけは、前日にいただいたものを即座に卸して準備してくださったもの。



7. 「はりいしゃ」の住み心地がとてもよかったです。

宿泊という観点ではなく、ワーケーションとしても抜群だと思う。今回は、友人と会う時に落ち着いて話す空間として利用させてもらったが、それ以上に、個々に想いのつまった空間だとすぐに感じた。室内を見歩き、ひとつひとつの作品として知ることができた。友人もとても喜んでくれた。彼女の連れは蒔絵師で、このような空間も何かの発想の転換になるかと思いお誘いしてみた。とても喜んでくれて、また是非来たいと言ってくれた。その方は鯖江の人ですが、ぜひ越前海岸盛り上げ隊の方々の活動とつながってもらえた、わたしも嬉しい。わたし自身も、次回また利用したいと思っています。今回一番心落ち着いた場所でした。



## ワーケーション参加者へのアドバイス

### ●移動について

車持参してなかったわたしにとって助かったものは、コミュニティバス「ほやほや号」。滞在先の農家民宿「いちろべえ」はちょうどバス停の真ん前だったので、越前水仙の里公園内の「越廻サテライトオフィス」との往復には何度も利用した。

そして何人の運転手さんに、地域のお店や人たちのことを教えていただいた。乗車するためだけでなく、地域のひととお話しできる貴重な時間だったので、車ある人もない人も、一度は乗ることおすすめです！

※ただ、一時間前に予約しなければならないことがネック。

一度どうしても予約できなかつたため、1時間半待ち、という時も、、、

地域おこし協力隊の「松平さん」と「おさのさん」がそれぞれ助けてくださって、時間を有効活用できたり、いろんな人たちに会わせてくださるきっかけを作ってくださったことに、とても感謝しています。本当、何かあったときにはすぐに飛んできてくださいって、心の支えになりました…

また、農家民宿「いちろべえ」の堂下さんがきっかけとなって、宿泊場所をうまくコーディネートしてくださったので、作業の時間が空いたら「いちろべえ」へ足を運んでみてください。

### ●ワーケーションで気に入ったこと

景色、雰囲気。集中できる内装。海の広がりと発想の転換ができる環境、というところがとてもよかったです。大人数でももちろん一人でも、どんなバージョンに合わせても集中できるところはそんなにないと思う。

室内だけでなく、屋外もあつたら面白いと思った。

### ●福井でワーケーションする際のおすすめスポット

水仙の里

アースカフェの中と外

はりいしゃ

## ワーケーション施策に関するフィードバック

### ●改善策は特にありません！

- ・地域おこし協力隊の方に、ほんと助けられました。民泊の延長のように、ずっと気にかけてくださっていました。この関係性がなければ、車がないわたしにはここまで深く地域の方と知りあったり、知れる範囲が広かったりは、できなかつたと思います。そして入口を作つてくださった、堂下さんにも感謝しています。
- ・あえていうのなら、数時間でも利用できるレンタカー（電気自動車など）希望。
- ・越前海岸を走れるレンタサイクルが欲しいです！

### ●ワーケーションの今後の展開にあたり、福井市の押し出すべき強みは？

- ・山と海の両方の仕事、四季のイメージ。個々の住んでる人たちの暮らしぶり。各移住者の自由な雰囲気、それでいて助け合っていく雰囲気。
- ・地元の人と I ターンと U ターンの方とのバランス（越前海岸盛り上げ隊も含めて）が良く、移住者受入の土壤があるところが強みだと感じました。

### ●ターゲット

- ・活動範囲を街中にも置いている人
- ・今の生活を変えずに自然環境の中で仕事をしたい人
- ・イベントなど人を集めて発信基地にしたい人（大人数収納できる空き家など、ハリイシャも含めて多いと感じたから）
- ・母子家庭の方にもよさそう（森のようちえん、その後のフリースクール、山村留学のからみも面白いと思う）

### ●ワーケーションを再度実施したいか？

- ・はい！ぜひ。
- ・ワークスペースとしてだったら、「はりいしゃ」。一日でなく数日暮らしてみたい。
- ・一人分で充分な空き家で一週間暮らしてみたい（自炊していきたい）
- ・小さい家庭菜園ができる庭がついてたり、興味ある方々とのシェアハウスか移住体験の家、のようなものがあったら、とても助かります。
- ・わたしの場合、最も重要な要素は、【地域食】と【家と家の距離】そして【海と山の環境】でした。

### ●最後に

オリーブの産地として、福井市、とてもいいと思います。わたしもその関係性何か持ちたいと思うのは、すなおな気持ちです。オリーブと海のもの、オリーブと山のもの、いろんな広がりが生まれること間違いありません！

今後も、福井市にアンテナ立てていきたいと思います。  
これからもよろしくお願ひいたします。